

総合基礎科目	生活と社会					
看護学科	選択	1単位	講義	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	選択					
科目名	環境とくらし Enviroment and Life					
担当教員	都築英明					
目的	生命を育み、生活する環境を通して健康問題に関心を持つことを目指す。					
目標	生活環境に影響を受ける人間の存在形態を知り、対応能力を理解する。具体的には、生活を取り巻く環境要因による健康問題について知り、現在の取り組み状況や対応について理解する。環境問題について考え目指すべき人類社会の持続可能性を考える。					
他科目との関連	共通基盤看護学概論Ⅱ、実践基礎論Ⅰ～Ⅲ、実践基礎看護学実習、実践基礎看護学実習、文化とくらし、生命と科学、発達とライフサイクル、医療安全学Ⅰ～Ⅱ 保健医療福祉行政学、社会福祉原論、衛生管理学					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	授業用テキスト（自作）					
参考資料	住居医学(学長著書)「国民衛生の動向」「環境白書」地球環境がわかる（西岡秀三）					
備考 (受講上注意、事前学習等)	授業を受けた後は、レポート提出等提示された課題に取り組むほか、事前学習では現在問題となっている様々な環境問題について情報収集しておくこと。					